

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大戸屋ホールディングス
 コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三森 久実
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長 (氏名) 濱田 寛明
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 0422-26-2600
平成24年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第2四半期	10,047	6.4	151	39.3	116	40.2	136	△54.8
24年3月期第2四半期	9,441	11.9	108	△66.2	83	△71.3	301	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 199百万円 (△39.2%) 24年3月期第2四半期 328百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	23.46	—
24年3月期第2四半期	51.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	％
25年3月期第2四半期	9,425		2,581		27.3
24年3月期	8,743		2,492		28.5

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 2,577百万円 24年3月期 2,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	20,000	7.0	550	33.8	500	37.4	250	△16.9	43.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 台湾大戸屋(股)有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	5,800,000 株	24年3月期	5,800,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	137 株	24年3月期	137 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,799,863 株	24年3月期2Q	5,799,926 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調がみられたものの、欧州債務危機や中国の景気減速、円高の長期化と株価低迷、電力供給不安の影響等により、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、消費税増税や電気料金の値上げ問題等を背景とした消費者の低価格・節約志向が続く中、同業他社やコンビニエンス・ストア等の中食業態との競争が激しさを増しており、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、創業55周年・会社設立周30年という節目の期を迎えており、「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、当社グループのこれからの30年に向け、「大戸屋」を世界的に通用するブランドに育てるべく、努力、邁進して参ります。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきましては、ショッピングセンターへの出店を中心に「大戸屋ごはん処」直営4店舗、フランチャイズ2店舗を新規に出店いたしました。また、海外におきましては、「大戸屋ごはん処」直営店を台湾で1店舗、及び米国ニューヨーク州で1店舗、「大戸屋ごはん処」フランチャイズ店をタイ王国に1店舗、及び中国上海市に1店舗、「大戸屋キッチン」フランチャイズ店をインドネシア共和国に1店舗、新規に出店いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間中に合計11店舗を出店、2店舗を閉店したため、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で327店舗（うち国内直営137店舗、国内フランチャイズ124店舗、海外直営25店舗、海外フランチャイズ41店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は10,047百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益151百万円（同39.3%増）、経常利益116百万円（同40.2%増）となり、主に国内における既存店舗にかかわる固定資産除却損37百万円、減損損失37百万円を特別損失に計上し、法人税等が211百万円となったため、四半期純利益は136百万円（同54.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は、引き続きこれまで大戸屋が培ってきた“家庭食の代行業”としてのブランド力の向上を図るべく、提供時間の短縮などのオペレーションの効率化に取り組み、「店内調理」の更なる強化を進めております。また、そのための基盤作りとして、人材育成に特に注力し、採用からキャリアアップまでの一貫教育体制を整備していくことで、1店舗ごとの質を高め、お客さまから選ばれる店作りに注力して参りました。

店舗展開につきましては、国内においては、直営店4店舗（東京オペラシティ店、神田小川町店、新宿イーストサイドスクエア店、金町駅前店）の新規出店がありましたが、社員独立支援制度による直営店2店舗（御徒町南口店、札幌南2条西2丁目店）ののれん分け及び直営店2店舗（宮崎大島町店、おとや西荻窪店）の閉店がありました。また、直営店おとや笛吹川フルーツ公園店が「大戸屋ダイニング」業態に変更いたしました。さらにフランチャイズ1店舗（福岡西新店）の譲受けがありましたが、当期間中に再度、同店舗を国内フランチャイズ事業へ譲渡いたしました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」135店舗、「おとや」1店舗、「大戸屋ダイニング」1店舗の総計137店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は6,533百万円（同11.9%増）、営業利益175百万円（前年同期は29百万円の営業損失）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」2店舗（コマーシャルモール博多店、丸亀町グリーン店）の新規出店と社員独立支援制度によるのれん分け2店舗がありました。また、国内直営事業へ1店舗の譲渡がありましたが、当期間中に再度、同店舗を国内フランチャイズ事業が譲受けました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」124店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,483百万円（同18.1%増）、営業利益353百万円（同29.4%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、25店舗（台湾大戸屋股份有限公司が台湾に15店舗、香港大戸屋有限公司が香港に5店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に4店舗、AMERICA OOTOYA INC. がアメリカ合衆国に1店舗）稼働しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は939百万円（同34.9%減）、営業損失127百万円（前年同期は31百万円の営業利益）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、タイ王国において37店舗、インドネシア共和国において3店舗、中国上海市において1店舗を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は85百万円（同52.4%増）、営業利益は24百万円（同53.8%減）となりました。

なお、持分法適用関連会社であるBETAGRO OOTOYA CO., LTD.（当第2四半期連結会計期間末で連結子会社となり、平成24年8月16日付でM OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. に商号変更）及び大戸屋（上海）餐飲管理有限公司につきましては、当第2四半期連結累計期間において持分法による投資損失25百万円を計上しております。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であり、当第2四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Y フィールがメンテナンス事業を、株式会社O T Y 食ライフ研究所（平成24年4月23日設立、平成24年5月1日付で食ライフデザイン株式会社から食育事業に関して事業譲受け）が食育事業を、OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. が当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業をタイ王国で行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は128百万円、営業利益は5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金1,986百万円を主なものとして3,661百万円(前連結会計年度末比21.0%増)、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,520百万円と敷金及び保証金1,535百万円を主なものとして5,764百万円(同0.8%増)であり、資産合計では9,425百万円(同7.8%増)となりました。これは主に、現金及び預金、未収入金が増加したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、借入金1,068百万円、買掛金792百万円及び未払金612百万円を主なものとして3,158百万円(前連結会計年度末比1.3%増)、固定負債は、長期借入金2,555百万円を主なものとして3,685百万円(同17.6%増)であり、負債合計では6,843百万円(同9.5%増)となりました。これは主に、借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は2,581百万円(前連結会計年度末比3.6%増)となり、自己資本比率は27.3%となりました。これは主に、為替換算調整勘定が増加したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により374百万円を獲得し、投資活動により572百万円を使用し、財務活動により517百万円を調達した結果、1,872百万円(前連結会計年度末比19.3%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は374百万円(前年同期比152.3%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益347百万円を計上し、減価償却費377百万円等の非資金的費用がありましたが、子会社株式売却益313百万円を計上し、法人税等の支払による支出204百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は572百万円(前年同期は31百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出385百万円と関係会社株式の取得による支出30百万円並びに売却による支出56百万円等があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、調達した資金は517百万円(前年同期比33.2%減)となりました。これは主に、借入による収入が1,230百万円ありましたが、借入金の返済による支出が542百万円と配当金の支払額113百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗及び第3四半期以降は台湾子会社が連結対象子会社から除外される影響額を見込んだを勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月11日に公表しました平成25年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細は、平成24年11月9日に公表いたしました「業績予想の修正及び中間配当(特別配当)実施に伴う配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、当社の連結子会社であった台湾大戸屋股份有限公司の全株式を全家便利商店股份有限公司(Taiwan FamilyMart CO., Ltd.)へ譲渡いたしました。これにより、平成24年9月30日現在、同社は当社の連結子会社から除外しております。

この結果、平成24年9月30日現在では、当社グループは、当社と連結子会社8社(株式会社大戸屋、株式会社O T Y フィール、株式会社O T Y 食ライフ研究所、香港大戸屋有限公司、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD.、AMERICA OOTOYA INC.、OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.、BETAGRO OOTOYA CO., LTD.〔平成24年8月16日付でM OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.に商号変更〕)及び持分法適用関連会社1社(大戸屋(上海)餐飲管理有限公司)により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,653,616	1,986,898
売掛金	557,198	548,932
原材料及び貯蔵品	48,117	55,272
その他	768,466	1,071,198
貸倒引当金	△1,045	△1,029
流動資産合計	3,026,354	3,661,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,373,161	2,396,281
その他(純額)	1,151,372	1,123,985
有形固定資産合計	3,524,533	3,520,267
無形固定資産		
のれん	37,538	56,293
その他	79,089	64,200
無形固定資産合計	116,628	120,494
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,508,541	1,535,215
その他	567,461	588,499
貸倒引当金	△294	△169
投資その他の資産合計	2,075,708	2,123,545
固定資産合計	5,716,870	5,764,306
資産合計	8,743,225	9,425,578
負債の部		
流動負債		
買掛金	803,573	792,870
短期借入金	—	25,000
1年内返済予定の長期借入金	886,303	1,043,968
リース債務	118,124	136,999
未払金	633,560	612,301
未払法人税等	211,829	178,919
賞与引当金	45,303	58,567
店舗閉鎖損失引当金	4,032	8,438
その他	413,300	300,965
流動負債合計	3,116,027	3,158,032
固定負債		
長期借入金	2,051,210	2,555,621
リース債務	271,715	310,091
退職給付引当金	188,236	187,288
資産除去債務	271,473	265,058
その他	351,811	367,650
固定負債合計	3,134,447	3,685,711
負債合計	6,250,475	6,843,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,012	724,012
資本剰余金	642,212	642,212
利益剰余金	1,210,043	1,230,089
自己株式	△121	△121
株主資本合計	2,576,147	2,596,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,969	4,864
為替換算調整勘定	△88,366	△24,037
その他の包括利益累計額合計	△83,396	△19,172
新株予約権	—	245
少数株主持分	—	4,570
純資産合計	2,492,750	2,581,835
負債純資産合計	8,743,225	9,425,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,441,264	10,047,535
売上原価	3,719,724	4,133,983
売上総利益	5,721,540	5,913,551
販売費及び一般管理費	5,612,612	5,761,798
営業利益	108,928	151,753
営業外収益		
受取利息	1,655	2,401
受取配当金	363	1
協賛金収入	8,814	15,057
その他	11,447	14,334
営業外収益合計	22,281	31,795
営業外費用		
支払利息	34,901	32,452
為替差損	1,449	8,092
持分法による投資損失	11,411	25,693
その他	422	894
営業外費用合計	48,185	67,133
経常利益	83,024	116,415
特別利益		
子会社株式売却益	518,888	313,768
店舗売却益	2,828	—
その他	—	146
特別利益合計	521,717	313,914
特別損失		
固定資産除却損	26,432	37,391
減損損失	20,096	37,676
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,069	8,128
その他	11,057	—
特別損失合計	62,656	83,196
税金等調整前四半期純利益	542,085	347,134
法人税等	252,765	211,648
少数株主損益調整前四半期純利益	289,319	135,486
少数株主損失(△)	△11,814	△557
四半期純利益	301,134	136,043

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	289,319	135,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△105
為替換算調整勘定	38,027	63,834
持分法適用会社に対する持分相当額	826	333
その他の包括利益合計	38,859	64,062
四半期包括利益	328,179	199,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	347,493	200,267
少数株主に係る四半期包括利益	△19,314	△718

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	542,085	347,134
減価償却費	396,793	377,391
貸倒引当金の増減額(△は減少)	62	△140
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,496	14,676
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	5,069	4,505
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△726	△948
受取利息及び受取配当金	△2,019	△2,402
支払利息	34,901	32,452
持分法による投資損益(△は益)	11,411	25,693
店舗売却損益(△は益)	△2,828	—
子会社株式売却損益(△は益)	△518,888	△313,768
固定資産除却損	26,148	37,391
減損損失	20,096	37,676
売上債権の増減額(△は増加)	△47,013	16,191
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,594	△9,440
前払費用の増減額(△は増加)	△53,778	△19,025
未収入金の増減額(△は増加)	△6,244	△10,829
仕入債務の増減額(△は減少)	66,193	30,535
未払金の増減額(△は減少)	10,683	△49,200
未払費用の増減額(△は減少)	27,844	16,698
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,372	△113,207
未収消費税等の増減額(△は増加)	△30,611	140,010
その他	20,324	49,205
小計	523,778	610,600
利息及び配当金の受取額	852	2,224
利息の支払額	△35,455	△33,228
法人税等の支払額	△340,641	△204,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,533	374,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△38,050	△2,008
貸付金の回収による収入	6,038	9,909
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入(△は支出)	—	17,864
関係会社株式の取得による支出	—	△30,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(△は支出)	650,347	△56,843
有形固定資産の取得による支出	△568,106	△385,066
有形固定資産の売却による収入	86,123	—
無形固定資産の取得による支出	△20,328	△28,388
長期前払費用の取得による支出	△32,839	△18,217
敷金及び保証金の差入による支出	△32,529	△36,405
敷金及び保証金の回収による収入	10,971	15,645
その他	△30,029	△58,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,597	△572,286

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	30,000
短期借入金の返済による支出	—	△5,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△538,004	△537,327
リース債務の返済による支出	△61,517	△62,023
少数株主からの払込みによる収入	—	5,145
配当金の支払額	△114,718	△113,744
少数株主への配当金の支払額	△11,685	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	774,073	517,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,871	13,807
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	950,333	333,281
現金及び現金同等物の期首残高	1,370,452	1,539,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,320,786	1,872,898

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	
売上高					
外部顧客に対する売上高	5,838,505	2,103,493	1,443,213	56,052	9,441,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,838,505	2,103,493	1,443,213	56,052	9,441,264
セグメント利益又は損失(△)	△29,820	273,412	31,991	53,643	329,227

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	329,227
全社費用(注)	△220,298
四半期連結損益計算書の営業利益	108,928

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であったBETAGRO OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. の全株式を売却し、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの「海外直営事業」における資産の金額は著しく減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては20,096千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内直営事業」セグメントにおいて、フランチャイズ加盟店の店舗を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては16,784千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,533,201	2,483,962	939,718	85,407	10,042,290	5,245	10,047,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	123,622	123,622
計	6,533,201	2,483,962	939,718	85,407	10,042,290	128,867	10,171,157
セグメント利益又は損失(△)	175,430	353,894	△127,978	24,767	426,112	5,176	431,289

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	426,112
「その他」の区分の利益	5,176
セグメント間取引消去	△24,923
全社費用(注)	△254,612
四半期連結損益計算書の営業利益	151,753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった台湾大戸屋股份有限公司の全株式を売却し、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの「海外直営事業」における資産の金額は著しく減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内直営事業」及び「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、それぞれ、12,283千円及び25,393千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、食育事業に関する事業を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、28,000千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。